



JWTC

Japan Women in Travel Club
NEWSLETTER

広げよう！
人の輪 旅の輪



CONTENTS

- P1 JATA x JWTC 第5回勉強会
- P2 親睦会小砂レポート / リレーエッセイ
- P3 会社紹介 (株) シイ. エイ. エヌ / 新入会員紹介 / 第7回サンパウロ便り
- P4 私のふるさと自慢 / 運営委員会からのお知らせ他

観光は相互理解による平和交流や地域の発展に貢献していると確信。観光の意義、使命を心に刻み、発信していきたい。

—— 東会長講演語録より

地域主導型観光と第三国旅行への挑戦

JATA x JWTC 第5回勉強会

日本旅行業協会理事・沖縄ツーリスト(株) 会長 東 良和氏

2015年5月20日(水) 参加者62名(JATA20名、JWTC20名、ビジター22名)



「地域主導型観光と第三国旅行への挑戦」をテーマにJATA会議室を熱気に包んだ東会長の講演

顧客、地域、働く仲間の Quality of Life 向上を目指して

沖縄県に本社を置く、沖縄ツーリスト会長 東氏が創業当時からのごとく、業界への提案、福利厚生施策など沖縄ツーリストならではの取組みを語ります。

JATA x JWTC 勉強会を2015年5月、JATA会議室(東京・霞が関)で開催しました。講師は、JATA理事で沖縄ツーリスト株式会社の代表取締役会長の東 良和氏です。地域(沖縄県)に本社がある優位性と反対軸にある課題、また業界全体を見渡した時に見える問題も「課題は伸びしろ」と捉えるその前向きさと建設的な提案に、参加された誰もが魅了されました。

先を行く福利厚生施策と子連れMICEの提案

民間で唯一社内に放送大学学習センターを持ち、また、仕事と育児の両立を考え、社内保育園を設立。しかし子供を預けにきた第一号は男性社員でした。優秀な女性社員の流出を防ぐための施策でしたが、家族の結束の強い沖縄ならではのこともなかもありません。

沖縄ツーリストの歴史

沖縄ツーリストは1958年沖縄県那覇市にて開業、1966年には東京事務所開設、本土復帰前に沖縄初のレンタカー営業の認可を受け、沖縄観光受入のオペレーター的存在から出発、開業当初から国内客はもちろん、インバウンドも受けていました。地域に本社があるなど中央とは温度差があることを考えながらビジネスモデルを変革、昨年は内外ともに好調。昨年の海外客受入(クルーズ客除く)は12万人に上る。

目標は Quality of Life

旅行商品のコモディティ化が進み、多様な顧客セグメントが存在してきている中、地域と協力して新たな価値を生み出し、持続可能な観光振興をしたい。好調な

経営に対する決意

経営の5つの要素として旅行業が収益性を保つためには、商品力・サービス力・ターゲット設定・発信力・共感力が必要だ。共感力とは同じ価値観を持つ顧客が集ってこそ楽しく健全な空間が生まれる。顧客と経営のバランス感覚を持つことが肝要で白鳥のように水上では優雅に、水面下では努力を惜しまないと決意を語られています。

(木村晃子 シイ・エイ・エヌ)

勉強会のあとは和やかなムードで懇親会が開催された



東京に最も近く 「日本で最も美しい村」連合に加盟 小砂地区を訪ねて

こいさご



みどりのコントラストが美しい里山

今年も親陸会の季節になりました。「日本で最も美しい村」連合に加盟している村のなかでいちばん都心に近い栃木県那珂川町小砂(こいさご)を訪ねました。

新宿駅から JR 湘南新宿ラインで宇都宮駅へ。JR 東北本線に乗り換えての合計 1 時間半強の道のりは、土曜の朝のためか車内に人も少なく、思いのほか気持ちのよい序章となりました。

午前 10 時、JR 氏家駅に 12 名の会員が集合。今日一日小砂をご案内いただくホテル美玉の湯の総支配人大熊様の運転で、まずは当県と茨城県との県境に建つ鷲子山上神社(とりのこさんしょうじんじゃ)へ詣でました。鷲子山上神社は関東きっての

パワースポットだそうで、宮司の話によればここでお参りすると高額宝くじが当たるとか。みな時間をかけて熱心にお参りしたのはいうまでもありません。境内の随所に咲くアジサイとフクロウ像が私たちを歓迎してくれました。

念入りにお参りしてお金持ち気分になったあとは、ホテル美玉の湯での昼食タイムです。ホテルオーナー村樫様のご厚意により、栃木の誇る川の幸・里の幸がふんだんに提供されました。熟れてから収穫した野菜のバーニャカウダ、木の芽の突き出し、栃木牛の陶板焼き、この地域の温泉で養殖されたふぐの刺身まで特別に提供され、どれもおいしく堪能しました。特筆

すべきは鮎の刺身です。鮎を生そのままいただくのは、参加者のほぼ全員が初めての体験でした。この地を流れる那珂川の清流で磨かれた鮎の身のなんと透明なこと！川魚に心配な臭みはまったくなく繊細でさっぱりした味わいの一皿でした。

昼食後は、藤田製陶所で小砂焼きの窯の見学と、馬頭観音を祀る馬頭院では秘仏開帳の幸運に恵まれ、ご住職の説明に耳を傾けました。道の駅や川魚専門店でも小砂の名産を調査し、文化にも触れ、小砂の観光要素を十分に研究しました。

小砂が「日本で最も美しい村」に加盟したのは、その里山の美しさあつてのこと。小さい地域(小砂のみなさん、ごめんなさい！)



絶品！
鮎の刺身

ですが、自然を好む欧州からの観光客が多く訪れるそうです。小砂の自慢は、植生の種類が偏っていない健全な雑木の里山であり、山あいに広がる水田と、そこに乱舞するホテルに代表される自然の豊かさです。観光地巡りに急かさず、じっくりとそこにたずみ自然と一体になる、そんなシンプルな体験ができる充実の一日を過ごしてきました。(伊藤聡子 ピコツアー)



林屋川魚店前にて



鷲子山上神社は神聖な空気で満ちている



ホテル美玉の湯

「金結晶」が美しい
小砂焼きの藤田製陶所



御開帳の馬頭院

RELAY ESSAY

リレーエッセイ

乗馬を始めたのはかれこれ 10 年ほど前のこと。子どもの頃に夢中になって読んだ少女漫画「キャンディ・キャンディ」の影響で乗馬という響きに強い憧れがありました。乗馬はお嬢様のスポーツ、庶民の習い事としてはハードルが高く憧れの世界に足を踏み入れたのは自分のお給料を自由に使えるようになってからでした。とはいえ都内の乗馬クラブは会費が高額で手が出ず、いささか牧歌的な空気の中で馬と戯れることができる千葉のクラブに入会しました。以来、馬たちの賢さ、美しさ、

馬の魅力

東京海上日動火災保険(株)

三觜 英子(会員番号442)

しなやかさ、力強さ、穏やかさ、そしてあの濡れたような黒い瞳に捕らわれています。

馬の世界に飛び込んでさまざまに新しい扉が開きました。馬の乗り方には大きく分けてブリティッシュとウエスタンがあること、馬術にも障害物を飛んだり超えたりする「障害競技」と、さながらバレリーナのように華麗に舞う「馬場競技」があること。ホースセラピーという療法があり馬の持つ癒し効果や馬上のリズムが心と体の双方の癒しになること。競走馬の多くが引退後は安楽死や食用肉への道を

たどり乗馬として第二の人生を歩める馬はごく僅かだということ。

世界各地で馬は太古の昔から人と共にありましたが日本においても同様です。貴族も武家も農家も馬と共に生きてきました。よく時代劇でスラリとしたサラブレッドに鎧武者が騎乗して迫力満点の合戦を繰り広げています。実際はもつとずんぐりむっくりとした小型の日本在来馬に乗っていました。日本人も今よりも小柄だったので人馬のバランスはそれほど変わらないかもしれません。

今、私の旅はもつぱら馬に乗るための旅です。日本各地や世界を旅行する際にはその地その地で馬に乗ります。「外乗」といって馬場を飛び出して一日中野山を駆け巡ります。春の花畑、

年に一度馬のセリ市が立つ遠野にて、
念願の裸馬に乗る筆者



夏の草原、秋の紅葉、冬の雪原など馬との一体感の中で楽しむ大自然は格別の喜びをもたらしてくれます。目下の目標は日本に 8 種いる在来馬(道産子・木曾馬・御崎馬・対馬馬・野間馬・トカラ馬・宮古馬・与那国馬)に会いに行くことです。

今回は、京王プラザホテルの田辺典子さんにバトンタッチです。

COMPANY

会員の会社紹介

(株)シイ. エイ. エヌ.
木村 晃子



海外自由旅行ならお任せ！ C.A.N. の女性社員たち

「CAN なら出来る、旅_自由自在。」

をキャッチフレーズに、海外自由旅行の専門店として営業展開をしております。

「常に最優先はおお客様の旅への思い」と考え、「CAN ツアーに頼んでよかった！」と思っただけのように航空券は、個人、団体各割引料金と LCC の組合せで、価格も効率も考えた移動を、ホテルはどんな地域も手配できるように多くのホテルシステムと契約。個別直接手配も視野に入れ GDS を駆使、クルーズ、オプションツアーも現地オペレーター及び専門会社と契約し、どんなご希望も実現できる旅行素材の提供環境を整えています。

お客さま自身で簡単に自由に旅を組み立てられる時代になっていますから、旅行会社として、素材準備だけでは十分ではありません。大切なのは対応スタッフのスキル。旅のプロとしての地域学習に加え、旅程管理視点で旅を組立てながら、サービス、

スピード、スマイルの「営業の 3S」を忘れずにお客様と共感し共鳴する旅作りを目指しています。

最近、パッケージツアーの提供も始めました。旅は百人百様。小さな工夫が旅をより楽しくし、思い出深くしてくれると考えていますので、弊社らしい旅、一味違った旅作りを心がけています。また、他業種とのコラボ旅にも積極的に取り組んでおり、アニメ製作会社とのコラボ「きんモザ聖地巡礼・コッツウォルズの旅」、UD 旅提唱者とのコラボ、「盲導犬と行くコンサートとその世界に浸る NY と近郊の旅」、自然派スタイル提唱者とのコラボ、「西海岸オーガニックツアー&リトリート」など、少しずつ守備範囲を広げています。

思い込まずに何でも挑戦、シームレスな手配をスタッフ一同で頑張っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

MEMBER

新入会員紹介

てい めいふん
鄭 明芬

会員番号 446
東武トップツアーズ株式会社



このたび、入会しました鄭です。皆さまよろしくお願ひいたします。

勤務先である東武トップツアーズ株式会社は、派遣期間を含め 15 年以上勤めており、法人営業、SIT 企画などを経て、今年の 1 月より訪日営業担当の現部署に所属しております。

台湾台北で生まれ、小学校を卒業後、父親の海外転勤で東京に転居。高校生でバイトを始めると、バイト代で週末の 1 泊 2 日の旅行で出歩くようになりました。

大学入学前には、海外一人旅でアメリカ、東南アジア諸国を巡り、当時は女性の海外一人旅が珍しく、親からは「宿だけはちゃんとした所」という条件のもと、10 代かつリユク一つで高級ホテルにチェックインし、客室から自宅に到着の確認電話を入れる決

まりでした。

就職はもちろん旅行会社で、東南アジア、オセアニアの現地手配会社「JTA JAPAN」に就職。各社のパッケージ手配を担当しておりました。途中、家庭環境でやむを得ずに他の業界も経験しましたが、残業が出来るようになり、旅行会社勤務に戻りました。

お客様や仲間にも恵まれ、楽しい仕事、さまざまな経験経歴をさせていただきました。今年初めて訪日（インバウンド）というマーケットについて、一から勉強することになり、自分なりにわくわくしております。

女性の会では旅行業内の親睦交流はもちろん、新しい方々との出会いで新しい物事の考え方、物事の切り口、キーワードなどをいただけたらと楽しみにしております。

連載

CHIHO KANO

狩野知保のサンパウロ便り

| 第 7 回 |
サイト予約に気をつけて！



コルコバードの丘
後光射すキリスト像の前にて筆者

航空券が、昔は裏が赤いカーボン紙になっている紙だった、と知っている方がだんだん少ない時代になりました。何でもインターネットでペーパーレス、世界中どこでも簡単に航空券やホテルの予約が個人手配できる事は、旅行者にとってもとても便利なことです。しかしブラジルでは、当地居住者以外の方がサイトを利用出来ないケースが、実は多々あります。今回は、ブラジルにおける個人旅行手配の盲点についてお話しします。

日本の 23 倍の広さがあるブラジルでは、短期滞在の場合ほど飛行機での移動が便利です。サイトでフライトを予約し、いざカード決済の画面へ進むと、何度トライしても決済できないという質問が、日本からもブラジル在住の方からも入ってきます。これは、サイト上での決済は、ブラジル発行のクレジットカードしか受け付けられないサイトが多いからです。治安の悪いブラジルでは、国際カードを受け付けられないサイトが本当に多く、居住者の私も、国際カードを利用できない場合は日本で作ったクレジットカードではなく、ブラジルの銀行で作ったカードを使います。

例えばキリスト像で有名なコルコバードの丘の登山列車をサイトで予約しようとする、最初の案内の画面では英語が選択できるのに、いざ予約となると全てポルトガル語になりハードルが上がります。予約のためには個人情報の登録も必要になります。がんばって入力して最後にでてくる質問が CPF。CPF とは、こちらの納税者番号の事。海外居住者であれば、当然ブラジルの納税者番号など持っているはずはなく、その質問が理解できたとしても、番号を持っていないためにそこで終了となります。

ブラジルでは何をしても、この CPF と ID 番号にあたる RG（外国人は RNE）が必要です。この番号が無い、又はナショナルカードが無いと、上記 2 ケースだけでなく、長距離バスのチケットも、インターネットショッピングも出来ません。治安が悪いばかりに、国際カードは偽造や不正利用の率が高くなるため、支払の後追いが容易なナショナルカードに制限しているのかもしれない。そして CPF 番号を登録させていると、後々納税が必要になった場合、支払を要求できる、個人のお金の動きを全て国が把握できるからと思われる。何にでも税金をかける所は日本の上をいき、毎年 10% 近く物価が上がるのは税金のためです。

まさかサイトで購入出来ないとは、びっくりかもしれません。そんな時のお手伝いのためにも、お客様へ情報を提供していきます。次号もお楽しみに。

久保田 牧子

会員番号 447
NPO 法人高齢者・障がい者の旅をサポートする会



NPO 法人高齢者・障がい者の旅をサポートする会及び NPO 法人東京ユニバーサルツーリズムセンター理事長。大学卒業後、婦人生活社「婦人生活」編集担当するも、結婚後は育児に専念。40 歳の時にアメリカで約 10 か月、障がい者教育（Learning Disabled）のインターンとして教育現場を体験。帰国後、編集業に戻り、高齢者や障がい者の介護情報誌「やさ

しい手」（婦人生活社）、「かいいの学校」（日本医療企画）を経て、平成 20 年 1 月 NPO 法人高齢者・障がい者の旅をサポートする会、平成 27 年 5 月 NPO 法人東京ユニバーサルツーリズムセンターを設立。以来、高齢者や障害を有する方たちの旅（外出を含む）のサポートに携わっています。どうぞよろしくお願ひいたします。

私のふるさと自慢

第6回

福岡県北九州市 木下 弓子
日本ナノメディシン交流協会



「花衣ぬぐや まつわる紐 いるいる」
小倉の杉田久女の句碑の前でたたずむ筆者

わがふるさととは、無法松ではないが「小倉生まれの玄海育ち」だ。しかしその後は数えてみたら西は福岡から東は東京まで21回も引越している。6年間テキサスにも住んだ。一番長かったのが名古屋で30余年。人生の最終地として選んだ猿・猪・鹿などが、わが物産に敷地内を歩き回る三重県の田舎(菟野町)に住んではや10年。完全な根無し草であるが、何所も思い入れがあり自慢したいものがある。その中で、ちよつと変わったものを二つほど取り上げてみる。

まず、小倉(現北九州市)。ここは100年物のぬか漬けを大切にしている家庭が多い。初夏の市場に青い山椒の実が一斉に売りに出る。これをたつぷり糠床に入れて味を豊かにする。ほかにも鯉節の削った最後の切れ端やなにかやを入れて味を豊かにする。この糠床を使って、イワシや鯖を煮付けするのである。この話をするとほとんどの方が「えっ!糠で?」とびっくりされる。小倉製の複雑な風味の糠床が味の決め手なのである。家庭料理だったが今では土産物として目過(たんが)市場(アジア的昔風市場)で販売もしている。ネットでも買えるので興味のある方は是非お求めを。次は、テキサス。米国の中でも他州から「異国」といわれ今でもカウボーイハットやブーツを着用し、ロデオ・BBQ・チリを愛する人々。私が住んでいたサンアンジェロという小さな町では「アルマジロ・レース」なるものがあつた。あの鎧を被つたような小動物である。これに「この銘柄でない」とタメ」とばかり、地元元のローン・スター・ビールを無理やり飲ませドッグレースのように競う。大の大人が野生のアルマジロを捕獲してきて夢中で取り組む。時々道路に交通事故に合つた彼らの無残な姿を見かけた。ちなみに、ローン・スターはテキサスの州旗である。小倉に住んでいた杉田久女が詠んだ「こたまして 山ほととぎす ほしいまま」とばかりにホトトギスが頭上で鳴きわたる声を聴きながら、今、最も愛する孤野の地でこの文章を書いている。



テキサスで求めた
記念のアルマジロの置物

運営委員会からのお知らせ

<JWTC 勉強会>開催

JWTC 勉強会を下記の通り開催します。

NPO 法人「高齢者・障がい者の旅をサポートする会」理事長の久保田牧子さんを講師にお招きして勉強会を開催します。

●日時：2015年11月21日(土)

※詳細は別途イベント企画部よりご案内いたします。



JWTC 日本旅行業女性の会
ホームページを活用しましょう!

ホームページアドレス <http://jp-jwtc.org/>

JWTC のホームページには、当会の紹介や活動内容、ニュースレターのバックナンバー、会員向けのお得な情報などが掲載されており、会の情報を一挙に知ることができます。ご友人などに入会を勧める際にも役に立つ情報が満載です。積極的に活用して、JWTC の存在を広めましょう。



編集後記

今年は年始からバリでのテロに始まり、日本人質事件、チュニジアでのテロ、航空機事故、ネパールでの地震、韓国におけるMERS 感染拡大など、海外旅行市場にとって未だかつてない程の逆風が吹き荒れています。「旅行」というビジネスが世界の平和と安定に直結した産業であることをこれ程強く感じる年はかつてなかったのではないのでしょうか。

人は旅を通して訪れた国の文化や人々に触れ、受け入れた国は旅行者を通して旅行者の国の文化に触れます。私たちが携わる観光産業は、雇用や地域活性化という経済的意義だけではなく、宗教や言葉の壁を越えて世界の人と人をつ結びつける世界平和に貢献できる仕事です。そのことに誇りを持って仕事をしたいと思います。(J.K.)

JOIN US!

入会のご案内

私たち日本旅行業女性の会 (JAPAN WOMEN IN TRAVEL CLUB, 通称JWTC) は、1980年に発足した旅行関連産業で働く女性の会です。

- *会員相互の親睦をはかり、旅行文化の向上に寄与する。
- *会員の専門知識、能力を生かし、社会への貢献を図る。

という目的を掲げ、勉強会や親睦会等の活動を続けています。

会員には旅行会社やホテル、ツアーオペレーター、航空・クルーズ、または旅行関連のメディアや保険会社など、ありとあらゆる旅行に関連した企業、団体に所属する女性たちが集い、日々研鑽を積んでいます。会員一人ひとりが業界のプロです。その高い専門知識や経験、技術を、共通の財産として、次代を担う業界女性にパトナタッチしていくことを目標に、「広げよう!人の輪 旅の輪」をキャッチフレーズに掲げ、活動を行っています。

入会資格は、まずは女性であること。そして、旅行関連の会社・団体等に勤務していること、この二つです。皆さんも、ご自身の会社から一歩、外に飛び出て、私たちの仲間に加わりませんか? 業界を支える女性たちの話を聞くことで、刺激や勇気を得ることができます。

ご興味を持っていただいた方は、ぜひホームページ (<http://www.jp-jwtc.org/>) で私たちの活動をご覧ください。お問い合わせや、お申込みは、運営管理部・橋本かおり k-hashimoto@keioplaza.co.jp まで。皆さんのご入会をお待ちしています。

お問い合わせ ▶▶ 運営管理部・橋本かおり
お申込み ▶▶ k-hashimoto@keioplaza.co.jp

JWTC ニュースレター秋号 vol.35-3

発行日 2015年9月1日
発行人 山科 ほとり
発行所 日本旅行業女性の会
編集・制作 JWTC 広報戦略部
木村 晃子
根本 恵
Editor 本多 美知子
Designer 森下 羊子

JWTC 事務局 〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-15
クリヤビル7階
(株)ピコ内 電話 03-5411-7218
URL <http://www.jp-jwtc.org/>